

かめやま教育通信

第42回



～児童生徒一人ひとりの「確かな学力」の向上を目指して～

平成26年度に策定した「亀山市学力向上推進計画」を平成29年3月に一部改訂し、「書く力」の育成を軸とする学力向上の取り組みに全小・中学校で取り組んできました。その結果、児童生徒は、一定量の文章を書くことができるようになってきました。しかし、本市の「全国学力・学習状況調査」の経年結果から、次のような課題が見られます。

小学校

- ★目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと
- ★資料の特徴や傾向を関連付けて読み取り、判断し、その理由を記述すること

中学校

- ★文章の構成を捉え、展開に即して情報を整理し、内容を捉えること
- ★資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること

例えば、このような「数量を読み取ったり、根拠をもとに説明したりする問題」が苦手です(小学5年生の算数)

A店とB店では、同じ弁当が同じ値段で売られています。どちらの店も金曜日が特売日で、A店ではすべての弁当が20%引きになり、B店では400円より高い弁当がすべて400円になります。

金曜日に下の3種類の弁当をそれぞれ1個ずつ買うことにします。どちらの店で買う方が安くなりますか。そのわけを言葉と式を使って書きましょう。



牛丼弁当
380円



寿司弁当
500円



おにぎり弁当
420円

(三重県教育委員会「わかる・できる育成カリキュラム」参考)

また、新学習指導要領では、変化の激しい時代を生き抜いていく子どもたちには、習得・活用・探究という学びの過程において、実際の社会や生活で生きて働く知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、学びに向かう力・人間性等を養うことが大切とされています。

亀山市学力向上推進計画【第3版】

そこで、今後の本市の学力向上の推進に係る具体的な方策をまとめ、「亀山市学力向上推進計画【第3版】」として改訂しました。【実施期間 令和2年4月～令和5年3月】

3つの重点的取組

学校力・教師力の向上

- ・「書く力」「読む力・読み取る力」の育成を図ります。
- ・何をどのように学ぶのか見通しを持つことや、どのように学び、どのような力が付いたかを振り返る活動をします。
- ・各教科等の学びが、他の教科や日常生活に生かされるようにします。

児童生徒への学習支援

- ・すべての児童生徒を大切に、関係機関と連携しながら、切れ目のない教育支援をします。
- ・補充学習や少人数学習など、習熟度に応じたきめ細かい指導を行います。

家庭・地域との連携・協働

- ・開かれた学校づくりを目指し、育てたい子ども像、目指す教育のビジョンを保護者や地域と共有しながら目標の実現に向けて協働していきます。
- ・家庭におけるより良い学習習慣や生活習慣の確立を目指します。

学校・保護者・地域が連携して、子どもたちの学力向上への取り組みを進めていきます。

問題の答え A店

【わけ】金曜日にA店で弁当を買う時のねだんは、

$380 \times (1 - 0.2) = 304$ 、 $500 \times (1 - 0.2) = 400$ 、 $420 \times (1 - 0.2) = 336$ 、合計は、 $304 + 400 + 336 = 1040$ で、1040円です。

B店では、 $380 + 400 + 400 = 1180$ で1180円です。だから、A店で買う方が安くなります。

問合先 教育委員会事務局学校教育課教育支援グループ(☎84-5076)